

名称 IMP (International Pilot Programme on Integrated Monitoring)

日本語名 統合モニタリングの国際パイロット計画

親機関 UN-ECE

住所 Palais des Nations, CH-1211, Geneva 10

国名 SWITZERLAND

電話 41-22-734-6011

ファックス 41-22-734-9825

---

1. タイプ：国際モニタリング計画

2. 地理的範囲：欧州

3. 目的

長距離越境大気汚染条約 (Convention of Long Range Transboundary Air Pollution) の援助のもとに、パイロット計画が1989年に開始した。プログラム活動計画は、スウェーデンによって EMEP の管理委員会 (Steering body) と影響に関するワーキンググループに報告される。このプログラムの目的は、生態系の状態を総合的に理解し予測すること、人為的な越境大気汚染の生態系への悪影響を監視することである。モニタリングは小流域や水文学的に明確な地域における水・陸上生物のモニタリングとともに、大気化学分析、降水、土壌、土壌水、地下水、表流水の分野に集中している。結果は、土地利用、大気汚染、気候要素間の相互作用に従う生物、生態系の変化の証拠を評価することに用いうる。

4. データ管理

フィンランド、ヘルシンキの北欧 EDCがIM計画から得られたデータを蓄積し、処理、分析する。

5. 協力関係

IMのパイロット計画はEMEPとして酸性雨条約の援助のもとに開始した。そのため、欧州の大気汚染モニタリングの統合的役割を果たしている。

6. 参考文献

HEM, 1990: A Survey of Environmental Monitoring and Information Management Programmes of International Organization.

Evaluation Group, 1992: Pilot Programme on Integrated Monitoring of Air Pollution Effects on Ecosystems, Evaluation of Integrated Monitoring in Terrestrial Reference Areas of Europe and North America, 58 p.